

(5) 今後の展開

No	検討項目	目指す方向性	これまでの取組み 【引き続き検討する事項等】
①	全体最適の検討	(1)材料を最少とする部分最適の設計から、構造、材料配合、施工計画のシームレスな全体最適設計(品質、コスト、時間)を可能とする仕組みを構築する。 (2)技術開発を促すための手法を検討する。	(1)土木構造物設計ガイドラインの改訂 (2)技術提案・交渉方式や新技術導入促進などの契約方式の促進 ・ 各種通知の認知、活用のFU調査
②	コンクリート打設の効率化	高密度鉄筋などによるコンクリート締め固め作業の負担を軽減できる高流動コンクリートを使いやすくするための環境を整える。 また、スランプ等の仕様規定を見直し、合理的な検査のあり方を構築する。	・ 流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン策定 (スランプ値の変更8cm→12cm) ・ 各種通知の認知、活用のFU調査
③	鉄筋の組み立て作業の効率化	手間のかかっている鉄筋の継ぎ手作業や定着部の合理化を図るため、機械式定着工法等を一般化し、現場で使いやすくするための環境を整える。	・ 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドラインの策定 ・ 機械式鉄筋継手工法のガイドライン策定 ・ 各種通知の認知、活用のFU調査 ・ 3次元データを利活用した基準の検討
④	現場作業の工場製作化	鉄筋のプレハブ化等の一般化により、現場作業の工場製作化を図る。	プレハブ鉄筋に関するガイドライン策定 ・各種通知の認知、活用のFU調査
⑤	プレキャストの大型構造物への適用	長スパン桁や大型ボックスカルバート等、従来現場打ちで行われていなかった構造や部材について、継ぎ手部の課題を解決し、プレキャストを活用できる環境を整える。	・ プレキャストコンクリート構造物に適用する機械式継手工法ガイドライン ・ 各種通知の認知、活用のFU調査 ・ VFMを取り入れた新たな指標と項目の検討(省人化、働き方寄与、環境等)
⑥	品質規定の見直し	受注者の自由度を高めるための仕様の見直しを検討する。 品質を確保しつつ、検査を合理化するための手法を検討する。	試験結果等のデータ化・共有化による、監督・検査の合理化・省力化に向けた検討
⑦	各工程の改善に向けた方策の検討	調達、製作、運搬、組立等の各工程の改善に向けた方策を検討する。	サプライチェーンマネジメントの導入に向けた検討(生コン情報の電子化等)

引き続き検討する事項の検討期間と、取組方針(案)

No	検討項目	引き続き検討する事項等 (前ページの継続した取組)	検討期間 の目標	今後の取組方針(案)
①	全体最適の検討	<ul style="list-style-type: none"> 各種通知の認知、活用のFU調査 	短期	<ul style="list-style-type: none"> 各種ガイドライン周知のための方策について検討を進め、活用を促進する 各種ガイドラインの改定に向けた検討
②	コンクリート打設の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 各種通知の認知、活用のFU調査 	短期	<ul style="list-style-type: none"> 各種ガイドライン周知のための方策について検討を進め、活用を促進する 各種ガイドラインの改定に向けた検討 スランプ(8→12cm)の通知の周知を継続して推進する
③	鉄筋の組み立て作業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 各種通知の認知、活用のFU調査 3次元データを利活用した基準の検討 	短期・長期	<ul style="list-style-type: none"> 各種ガイドライン周知のための方策について検討を進め、活用を促進する 各種ガイドラインの改定に向けた検討 BIM/CIMの活用による新たな施工管理基準等の検討(長期)
④	現場作業の工場製作化	<ul style="list-style-type: none"> 各種通知の認知、活用のFU調査 	短期	<ul style="list-style-type: none"> プレハブ鉄筋に関するガイドライン策定 各種通知の認知、活用のFU調査
⑤	プレキャストの大型構造物への適用	<ul style="list-style-type: none"> 各種通知の認知、活用のFU調査 VFMを取り入れた新たな指標と項目の検討(省人化、働き方寄与、環境等) 	短・中期	<ul style="list-style-type: none"> 各種ガイドライン周知のための方策について検討を進め、活用を促進する 各種ガイドラインの改定に向けた検討 VFMを取り入れた新たな指標と項目の検討(省人化、働き方寄与、環境等)(中期)
⑥	品質規定の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 試験結果等のデータ化・共有化による、監督・検査の合理化・省力化に向けた検討 	中期	<ul style="list-style-type: none"> 民間の審査制度(製品協会の認証制度等)を直轄工事における品質管理にも活用できるよう分析し、品質管理方法の簡素化について検討する
⑦	各工程の改善に向けた方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンマネジメントの導入に向けた検討(生コン情報の電子化等) 	短・中期	<ul style="list-style-type: none"> 生コン伝票、帳票類の電子化およびJIS改正(短期)、全数測定による代替え可能な試験の検討(中期)など、施工管理における業務効率化の検討を進める